

モノづくりの競争力強化を支える生産技術

Manufacturing Engineering to Enhance Competitiveness of Product Development

巻頭言

生産技術の高度化と プロセス変革を目指して

Toward Advancement of Manufacturing Technologies and
Process Innovations



清野 武寿
SEINO Takehisa

高度成長期における我が国の製造業は、安価な労働力を強みに、欧米から技術を導入した製品を低価格で顧客に提供することで、売り上げや利益を生み出し発展してきました。しかし、現在は、顧客ニーズを起点とした製品・サービス・ソリューションを、自ら生み出して提供することが必須になってきています。

生産技術センターは、コーポレート（本社）の研究開発部門として、東芝グループの事業が新たに生み出す製品・サービス・ソリューションを、高品質・低コストかつ短期間で開発・製造するための新たな技術や、手法、ツール、仕組み、システムを研究開発しています。複数事業にわたって共通に活用できる“生産基盤技術”を高度化し、事業部門との連携や現地に密着した活動を通して製品・サービス・ソリューションに適合できるようにカスタマイズすることで、東芝グループの事業競争力の強化を推進しています。

今回の特集では、新たな製造方法を実現する“製造プロセス技術”や、国内外での生産性・品質を向上させる“メカトロニクス・設備技術”に加え、“検査・計測・IoT（Internet of Things）技術”や“設計・生産システム技術”，更にこれらの技術開発に共通する“分析・評価技術”，“シミュレーション技術”などの生産基盤技術について紹介します。

生産技術センターは、製品・サービス・ソリューション事業を支える“縁の下の力持ち”である生産技術を高度化するとともに、これまで培ってきた技術や、手法、ノウハウをモノづくりの業務プロセスに適用することで、東芝グループの事業競争力を強化していくことを目指しています。今回紹介する、最新の生産基盤技術を通して、東芝グループのプロセス変革の取り組みをご理解いただければ幸いです。

生産技術センター 所長，博士（学術）
Corporate Manufacturing Engineering Center